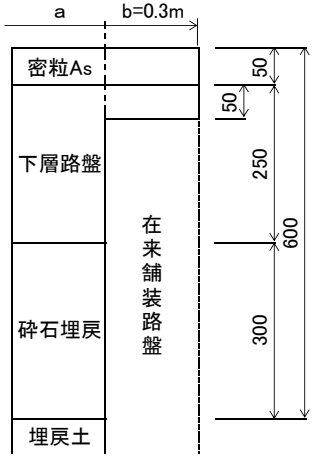
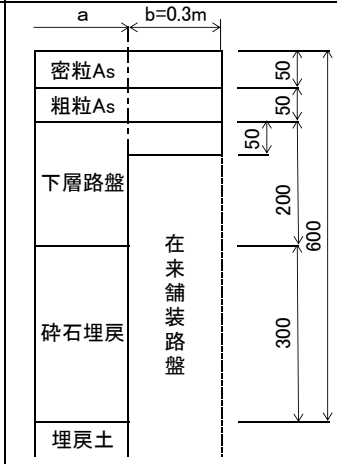
豊 明 市 道 路 掘 削 跡 復 旧 構 造 図

a：掘削幅　b：影響幅　単位：(mm)

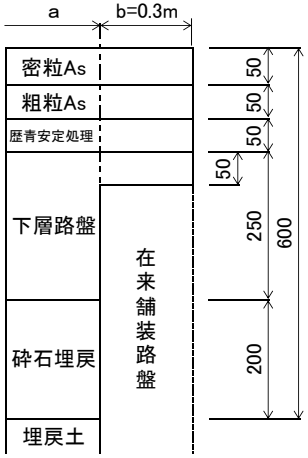
一般舗装道路（※1）



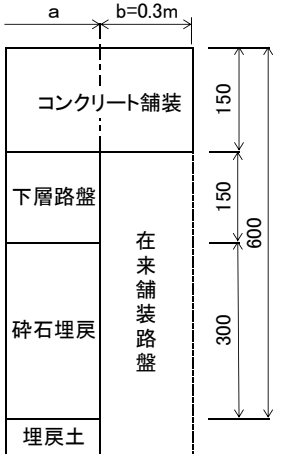
一般舗装道路・幹線道路（※2）



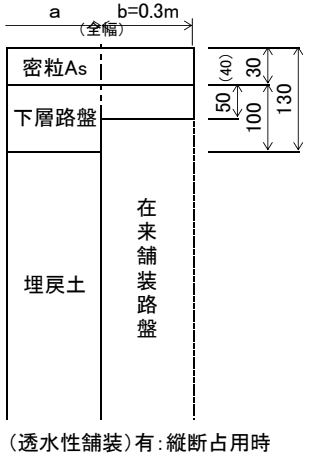
都市計画道路（B交通）



一般舗装道路（ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装）

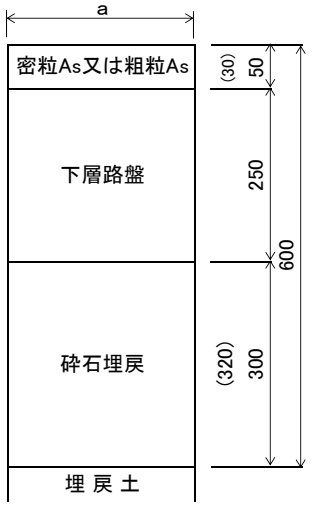


歩　道



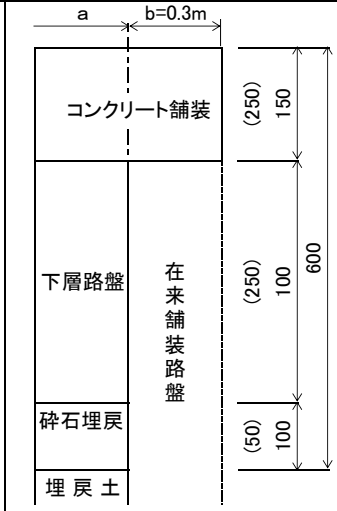
（透水性舗装）有：縦断占用時

仮舗装復旧(短期、長期)



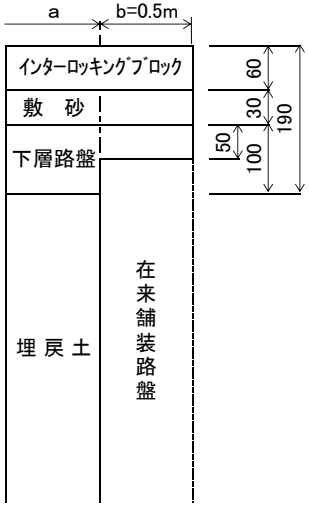
（ ）有：舗装復旧1ヶ月未満　（ ）無：舗装復旧1ヶ月以上

歩道乗入れ(ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装)

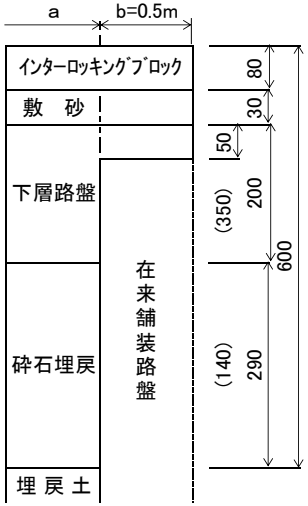


（ ）有：大型車　（ ）無：普通車

特殊歩道舗装

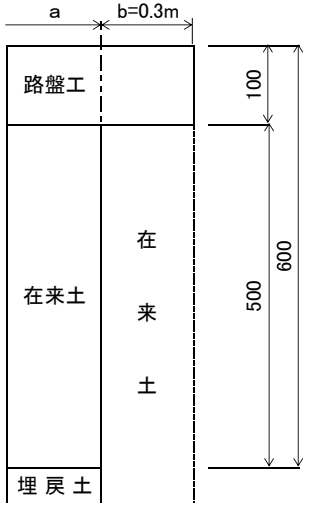


特殊歩道舗装(乗入れ)



（ ）有：大型車　（ ）無：普通車

未舗装道路



注意事項

1. 平均車道幅員が4.0m以下で、大型車両の通行が通常ない一般舗装道路の場合は、「一般舗装道路（※1）」を適用する。
2. 平均車道幅員が4.0mを超える一般舗装道路、幹線道路及び埋設管の土被りが1.5mを超える場合は、「一般舗装道路・幹線道路（※2）」を適用する。
3. 各戸引込管及び道路横断の舗装復旧構造は、「一般舗装道路・幹線道路（※2）」以上の構造とし、復旧幅（道路の縦断方向）は2.0m以上を原則とする。
4. 影響幅は、掘削部分の端から片側0.3mを標準とし、舗装復旧前に道路管理者と立会いにて決定する。なお、舗装新設後１年未満の場合は、全面舗装復旧とする。
5. 埋戻土の材料は、砂又は同等品以上の材料を使用すること。
6. アスファルト舗装の場合は、舗装前に必ず路盤面に乳材（プライムコート）を散布し、舗装厚が二層以上になるときは、各層毎に乳材（タックコート）を散布すること。
7. コンクリート舗装の場合は、舗装前に必ず路盤面に路盤紙を敷き、コンクリート内（厚さの１/２）に舗装用金網を挿入し、舗装切断線には目地材を入れること。
8. 舗装本復旧は、既設舗装の打ち継ぎ目から1.0m未満の場合、道路管理者と協議し舗装範囲を決めること。
9. 歩道舗装の縦断本復旧は、道路管理者と協議を行うこと。